



夕刊  
日三十月九  
発行所 伊藤隆次  
編集者 小名濱町  
印刷所 常磐印刷所  
日刊 毎朝日曜日休刊  
一部 二銭 二ヶ月三十銭  
廣告料 一行五十銭

クスリ  
資生堂  
小名濱町  
電一四七

### 懸念される東日本丸

#### 町長等の努力を待

##### 縣の保証拒絶問題で夕面を折衝中

廻航近しと待望されてきた東日本丸が、既に第一回揚子江航路に就航して、来るべき秋刀魚から俄然憂慮すべき事態を醸成し、懸念される。東日本丸が、秋刀魚の廻航に際して、小名濱町長等の努力を待たせしむべく、縣の保証拒絶問題で夕面を折衝中である。縣が保証を拒絶する理由は、東日本丸が、秋刀魚の廻航に際して、小名濱町長等の努力を待たせしむべく、縣の保証拒絶問題で夕面を折衝中である。縣が保証を拒絶する理由は、東日本丸が、秋刀魚の廻航に際して、小名濱町長等の努力を待たせしむべく、縣の保証拒絶問題で夕面を折衝中である。

### 東日本丸漁業會社の事業計画

一ヶ年の總収入九萬八千圓  
縣の保証拒絶問題から俄か來るは江名の清勝丸一三〇トに縣下漁業界の關心を深め、二五〇馬力、一三五トンの東日本丸は、鋼船クツチ型三〇〇馬力、東日本丸漁業會社の補助機關の農林省標準型社は、この優秀船を以て、船下最大の遠洋漁船で、秋刀魚、鰹等の漁獲に當り、

### スロ！敵重爆機

#### 爆弾投下で工場混亂

日本水素でけふ焼夷弾實驗  
防空演習の第二日小名濱町日本水素工業會社では、十三日午後三時同社で、スロ！敵重爆機三機、午後三時敵重爆機三機、爆弾を以て工場上空に飛來し、數個の爆弾を投下す。これがため建築物に延焼遂に火災を惹起し、工場は大混亂を呈せり。この想定に基き防火班は本部からの出動命令を受けて現場に出動、班長の指揮統制の下に消火並に現場混亂の整理に努め、最少限度にお

### 戦時經濟は犯罪防止から

本自警會で宣傳  
恩赦令發布記念日に當る今日、十三日刑罰者の保護機關、自警會及び石城佛敎慈善會では、「戦時經濟は犯罪防止から」とスローガンを以て、不良少年出ないやうに、思想犯罪者の消滅に、一般犯罪者をささないやうに、と再犯人出さないやうに、と

### 國策の代用染料

#### 秋刀魚漁に實驗

##### 磐城丸準備に忙殺

海洋横斷觀測並に鮪漁から鮪を示し一般から募集中心で歸つた縣指導船磐城丸は、二日午後十五日の締切日以前に解凍のサンマ漁に備へに左記諸氏からの獻納既に十六日漁場調査に出港する八十枚を突破してゐる。が今回のサンマ漁には既報の如く中央水産試験場との高木清八、高橋留吉、佐藤協力で代用品の試験を行ふ政、秋山善次、西山直三、目下これが準備に忙殺政、村山淨二、馬上與三、長瀬幸利、岡山イセ、小磯、實驗は漁具の各方面に及ぶ。鈴木正、渡邊武、石、ぶが年々外國から三百萬井正、丹野一郎、中村政治、圓の輸入を仰いでゐる。桑山野邊定藏、西山猛夫、小、類の國産染料を選び耐久代收造、金成嘉忠、野口重、力及び臭氣による漁獲率、男水山、鈴木福松、の關係等を調査研究する。渡邊光子、橋本清、志賀初、もので長期戦下における。太郎、丹米子、佐藤茂、鈴、劃期的の實驗とも云ふ。木秀松、中村昇、佐川森林、く總指揮官野野枝手は深野野九平、根本丑藏、中野、重本準備をすゝめてゐる。龜太郎、小川爲八郎、諏訪、五郎、小野道直、佐伯三郎、仲野茂右衛門、堀越大治郎、鈴木米次郎、内山治七、野、菊治、安藤半五右門、

### 毛布獻納

既に八十枚突破  
前線の勇士に毛布を送れ！  
小名濱では小野町長先づ

### 急募

#### 一、仲仕數名

身体強健の人を求む  
希望者至急來談されし

### 江運送店

小名濱町電話一〇六番

### 常磐印刷所へ

印刷の御用命は！  
電話(呼)二三九番

各位  
益々御清榮之段奉賀候 今般優良類刺  
箱材料讓渡申可候間 希望者は當組合  
か小名濱町橋本拾貳番地 大高箱店宛  
御申込被下度候  
申込締切期日昭和十三年九月三十日  
單價壹組二付貳拾五錢也  
責任 小名濱海産卸物商業組合  
電話 七一 番

今日 北の風強り時々晴  
明日 北の風強り時々晴

